

まつど未来づくり会議 会議録

分科会名：都市経営分科会

開催日時：平成 21 年 11 月 7 日（金）17 時 00 分～17 時 35 分

開催場所：松戸商工会館 5 階大会議室

出席委員：新井靖、小林恵一、斉藤利信、清水一、竹林清、中村美枝子、若林桂子、津川正治、加藤和彦、岡村隆秀

会議内容

参加者から各分科会へのコメントを受け、その感想をグループで共有しながら対話を行った。

- ・わかりやすい言葉で計画を作ることが大切。
- ・出席された市の幹部は男性ばかり、女性の言葉が入っていない。
- ・市との連携がキーワード。
- ・ボランティアの窓口の一本化など、市民にわかりやすい行政のあり方が大切。
- ・市民の積極的参加も大事。
- ・ポストイットの貼られた枚数が、他のテーマより少なかった。内容が難しい面があるからかな。
- ・結構、辛口な意見が貼られていた。これまでのプロセスが見えないので辛口な意見が多いのかな。
- ・具体性に欠ける内容となってしまったと反省している。5 回では深いところまで掘り下げられない。
- ・具体的なものは、これから先の議論になるのではないか。
- ・おおむね共感できるとの意見（ポストイット）もあった。わかりやすい平易な言葉で表現することが大事。
- ・素人がかたちづくったもの。方法論が先行してしまっていて、「どのようにしたいか」といった議論が進まなかったように思う。
- ・協働といったキーワードが 2, 3 あったが、もっとほしかった。
- ・具体的指標を出せなかったことは残念だったが、指標は専門的な知識が必要。素人では難しいと思う。
- ・できる範囲で、具体的な指標を入れてほしかった。

資料：発表を聞いてのコメント（都市経営分科会へ）

以上

発表を聞いてのコメント（都市経営分科会へ）

- ・ 市職員が自らのスキルアップを図るのは、良いことだと思う
- ・ 市職員のスキルアップは必要であり、市民の方からの信頼が今後、施策を推進していくためには必要になると思いました
- ・ 市職員のスキルアップは、個人に任せるのではなく組織として体制づくりが必要
- ・ 税以外の収入の増加、大いに賛成
- ・ 税収入以外の収入を研究してもらいたい
- ・ 広告収入の検討は、大いに進めて良いと思う。現在のHPのバナー広告の増加
- ・ 財源の確保について、市民と行政両方が知恵をしばることが大切
- ・ 新しい財源の確保は、明るい提案だと思う。実現させてほしい
- ・ 市民は、歳入の確保のため、新しい税についてのアイデアを出す
- ・ 納税のすすめの教育
- ・ ふるさと納税者の開拓を進んでやる
- ・ 職員数最大の企業としての市役所。若者の雇用促進に向けてワークシェアリングなど、いろいろな方策を実践、検討してみたい
- ・ 職員の達成感をはかれる指標は重要だと思う。市の職員が意欲を持って行うことが、市民と行政の連携の基盤となると考える
- ・ 財源財産を適正に管理し配分する行政の役割、まさにその通りだと思います
- ・ 市の保有財産、特に土地等（廃校跡地）を売り払わないこと。一度手放すと二度と手に入らない
- ・ 財政難にならぬよう、適正に配分すること
- ・ 社会資源や市の資産を市民がきちんと把握し、予算建ての中で、その資源や資産をどのように生かせるか、多くの視点から出るような体制を
- ・ 歳入と歳出のバランスシートなどの活用は？
- ・ 事業仕分けの導入
- ・ 事業仕分けについても提言してはいかがか？
- ・ 政令指定都市となるとどのような良いことがあるのですか
- ・ 政令指定都市について、大きいことは良いことだという時代は終わった。サービスが末端まで届かなくなる。財政面からの合併であり、本来の市民と自治体のあり方を検討すべき
- ・ 政令指定都市に向けた作業を早く進め、発展に向けた施策を図ってほしい
- ・ ムダのない市政を望みます
- ・ 市民は積極的に情報を取得し、とあるが、例えばどこで情報を取得したらよいか（議会傍聴などもあると思うが）

- ・ 市民にはなじみにくいテーマですが、さらにわかりやすく情報を発信してほしい
- ・ 10年後の社会経済状況の動向が見えない時代、行財政運営が厳しいものとなるので、頑張ってもらいたいと思いました
- ・ 松戸駅周辺の商業地域がさびれ、マンションばかり増えている現状。市の街づくりをもっと早く考えてもらいたい
- ・ 松戸市の道路はせまい。都市計画を再考されたい
- ・ 市民力の活用とそのための仕組みづくりを推進するための条件としては、市民セクターのコンセンサスが大切
- ・ 市民は行政に関心を持ち、自分が主役だという意識を持ち、一人ひとりが原動力となる
- ・ 市民ニーズの把握、連携が大切と共感
- ・ 団塊の世代をはじめ、退職者が得意分野で地域に貢献
- ・ 市民力を活用するための仕組みづくりを行う
- ・ 市長の営業活動。松戸の特産品など
- ・ どの政策についても、最低限の財源の確保が必要
- ・ 「市民は行政・・・意識をもち・・・」に賛同します
- ・ 財政状況に関する情報を積極的に、わかりやすい情報の発信を期待する
- ・ 市民が、市の財政白書を作る運動が広がっています。そのような活動ができれば素晴らしいと思います
- ・ 市民は、行政サービスを常にチェックし、不要と思われるものを積極的に指摘する
- ・ 行政は運営をガラス張りにし、透明性をあげること
- ・ 目指したい姿の宣言文の中、断続的な対話を経た力強い連携を作ってほしい
- ・ どのように対話を経て力強さを実現するのでしょうか
- ・ 市民満足度とは、例えばどのような内容なのか？
- ・ 市民力とは、いったいどういうことなのか？
- ・ 市民の役割の中で町会、自治会の活性化とありますが具体策は？
- ・ 市民ニーズを把握する仕組みが大切です。そのあたり踏み込んだ検討をされましたか？
- ・ 指標案の具体的な方法はありますか
- ・ 財政力を測れる指標とは、例えばどんなふうに見えてきますか？
- ・ 複雑な運営について市民にわかりやすい説明を行い、市民の合意を得ること
- ・ 市は説明責任を果たし、市民と情報共有できるようにすることに同感です。ぜひ実現してほしい
- ・ 全体的に、もっと具体性が出てきたらさらに良かったと思う
- ・ 全体的（役所）なコメントは市民にわかりやすい言葉で
- ・ 現状の問題点が不明で、目指したい宣言文との関係を明らかにしてもらいたい
- ・ まず「都市経営」とは、一体何なのか。きちっと定義し、議論の範囲を明確にしてほしい。

- ・ 健全、適正など言葉の並べに具体性を感じない
- ・ 行政評価委員会の設置、活動（市民の参画）
- ・ 松戸市の活性化のため、松戸ブランドの創造が必要。市の資産の有効活用
- ・ 職員の表彰より、市民の表彰に重点がある提言と受け止めました。市民提案を行政がどう評価したかを、明らかにする必要があります
- ・ 事業の見直し（市民参加で）
- ・ 財政について説明される機会は少ないので、もっと多くして欲しい
- ・ 有形、無形の資源でどんなものがあるか洗い出してみたい

以上